

村上茂さん 自治協議会会長が今年4月に、また新たな化石を発見しました。場所は、タンバティタニス（通称丹波竜）が8年前に発見された所から数メートル上流で、数万年後の地層内から



公開試掘調査 化石の密集箇所見つかる

平成26年9月20日

発行 上久下恐竜の里づくり部会

かみくげ 恐竜の里新聞

第68号

上久下地域自治協議会
0795 78 0001



見つかったことから、丹波竜とは別の個体と思われます。長さ12センチメートル、幅2.5センチメートルの化石で、恐竜の肋骨ではないかと博物館は見えています。この発見を契機にして、再び恐竜や化石への関心を呼び戻そうと、上久下自治協議会主催で「公開試掘調査」を8月29日から31日の3日間実施

しました。上久下地域の発掘ボランティアを中心に、人と自然の博物館の研究者も加わった約15人の調査隊を結成し、各新聞社やテレビ局にも声を掛けて、大きく報道してもらおうにしました。

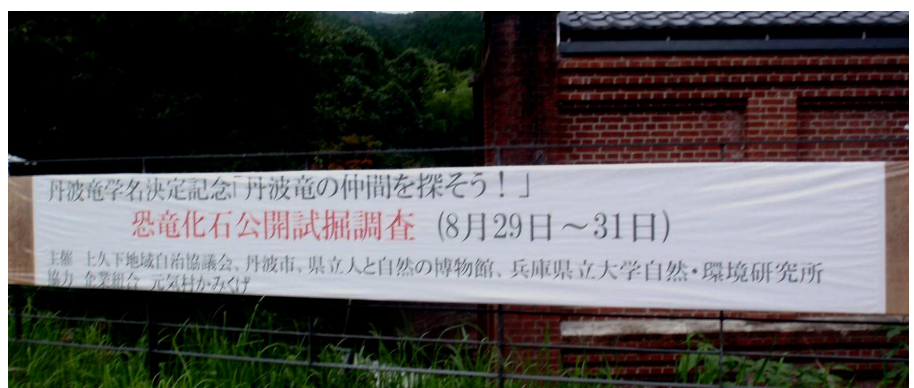
削岩機やハンマーで掘り進める内に、初日の午前中に早くも骨片化石を発見。更に別の場所では化石の密集箇所が見つかった大きな歓声が上がりました。一日目の発掘を終えた時点で、学術的に非常に貴重な化石である可能性が高いとの報告があり、破片が残っていないか再調査を徹底する組と、密集箇所をプラスチックジャネットにして搬出する組に分かれて、残り二日間は作業を続けました。調査隊のメンバーは

「まさか、こんなに早く見つかるとは思っていなかった。暑いなかで発掘をした甲斐があった。」と、喜んでいました。調査隊長の村上茂さんは

「4月に発見できたのは、新聞社の企画で子どもたちに化石を見つけるコツを教えていた時に、偶然ハンマーで叩いた所から化石らしき物が見つかった。後で博物館に調べてもらったら本物の化石だった。今回の発掘調査で分かったことは、周辺にはまだまだ化石が眠っているし、恐竜だけでなく小動物の化石も見つかるのは貴重なことだと思う。今回予定していた範囲の半分以上が未調査であり、再度公開発掘などを企画して地域をPRしていきたい。」と、話していました。

10月の予定

- ◆ 10月4日（土） 上久下小学校 PTA廃品回収 午前8時
- ◆ 10月10日（金） 恐竜の里づくり部会例会 午後7時30分
- ◆ 10月19日（日） ふれあい映画会 午後7時30分
- ◆ 10月23日（木） 自治会長会 午後7時30分



祝 学名決定の横断幕完成



8月号で予告していましたが、上久下地域自治協議会 村上茂会長は、通称丹波竜に新属・新種である「タンバティタニス・アミキティアエ」という学名が付いたことを記念した、「祝丹波竜に学名決定」の横断幕を丹波市観光協会・商工会・山南ライオンズクラブのスポンサー協力を得て、3枚作成することができました。上久下地域づくりセンターと、発見現場近くの木製ミニユメントには既に取付けていますが、残り一か所は上久下小学校グラウンドのフェンスに仮設置して、体育大会で集まった地域の皆さんに披露したあと下滝駅付近に取付ける予定です。

上久下地区体育大会開催される

第58回上久下地区体育大会が、9月21日に開催されました。天候を心配していましたが、前日までの曇り模様から一転した晴天の下で、例年よりも多くの地区住民が集まり盛大に行われました。午前中の小学校児童やPTAの演技に引き続き、午後からは各自治会・部落対抗の競技や演技が行われ、観客からは熱い声援が送られていました。自治会対抗得点競技にはより一層声援が大きくなり、350歳リレーになると、立ち上がり声を枯らして応援をする人が目立



ちました。種目別で大縄飛びは下滝、ゲートボールは阿草、綱引きは上滝、350歳リレーは畑内、玉入れは北太田がそれぞれ優勝となり、総合優勝は、4種目で好成績を残した畑内自治会が獲得しました。村上英明大会長は「心配していた天気が回復してくれて、全競技が終了でき本当に良かった。事故や大きな怪我もなく大会が開催できたことは、準備や運営に努力して頂いた役員の皆様達のお陰です。」と、感謝の言葉を述べられています。



恐竜イラストコンテスト

タンバティタニス（通称丹波竜）発見8周年記念企画として、上久下自治協議会、元氣村かみくげ、読売新聞社の共同主催で、こども恐竜イラストコンテストが実施されました。応募申込み者には「紙すき体験セット」が届けられ、紙すきセットで手作りしたハガキに恐竜の絵を描いて送ってもらう方法でした。期間中に33点の作品が集まり、9月2日に地域づくりセンターにて審査会を開催して優秀賞10点を選出しました。応募作品はパウチで化粧して応募者に返却すると同時に、優秀賞には記念品が贈られる予定です。

審査員の一人は、「申込みの時点から、恐竜に対する熱い思いがたくさん寄せられていた。送られてきた作品すべてに、恐竜が大好きというメッセージが込められていて、選ぶのに苦労した。恐竜に関する企画は人気も高く、これからも続けてほしい」と、感想を述べていました。作品のカラーコピーは、地域づくりセンターの小会議室にしばらく展示されます。

